

※本資料のインターネット上の公開、報道関係者への共有はお控えくださ
るようお願い申し上げます。

第26回サンパウロ日本祭り 「第2回ふるさと“いいもの”展」 事前説明会

2025年2月26日（水） 9:00～9:45

MAFF

Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries

農林水産省

第25回サンパウロ日本祭り、第1回ふるさと“いいもの”展の概要

第25回サンパウロ日本祭り

開催日：2024年7月12日（金）－14日（日）

場所：サンパウロエキスポセンター（ブラジル・サンパウロ市）

主催者：ブラジル日本都道府県人連合会（県連）

来場者数：18万4千人（2024年度）

概要：ブラジル・サンパウロ市にて毎年開催される日系団体による世界最大規模の日本祭り。

トヨタ、ホンダ等、ブラジルに進出する日本企業、キッコーマン、ヤクルトといった食品関連企業もブースを出展。

現地の47都道府県人会がそれぞれの都道府県の郷土料理を出品したブースを出展。

日本政府関連機関も多く参加しており、農林水産省では2015年以降、コロナ禍による祭りの中止期間を除き、毎年、日本産食品のPRを行うブースを出展をしている。



第25回サンパウロ日本祭り、第1回ふるさと“いいもの展”の概要

第1回ふるさと“いいもの展”の概要

主な内容：ブラジル日系社会と日本の出身母県の連携強化
及び日本産食品の商流拡大を目的に、JICAの財政支援のもと、ブラジル日本都道府県人会連合会、JETRO、国税庁、農林水産省の共催で、B to B形式により実施。

①日本の40都道府県から100を超える食品メーカー、団体などが出展。3日間にわたってブラジルのバイヤーに対し、各地域の酒、菓子、水産物等の特産品322商品のPR・商談を行った。

②各業界著名人によるセミナー及び出展者によるテーマ別プレゼンを設け、バイヤー向けに日本の水産物、酒、菓子・茶をテーマにしたセミナーや商品のPRを実施。両イベントとも満席が続き、現地での日本食の関心の高さが伺われた。

③延べ約750人の来場があり、商談約200件を行うことができた。



第25回サンパウロ日本祭り、第1回ふるさと“いいもの展”の概要

1. PRブースの様子



2. 各都道府県ブースの様子



3. メインセミナーの様子



第26回サンパウロ日本祭りの概要

第26回サンパウロ日本祭り

日時：2025年7月11日（金）－13日（日）

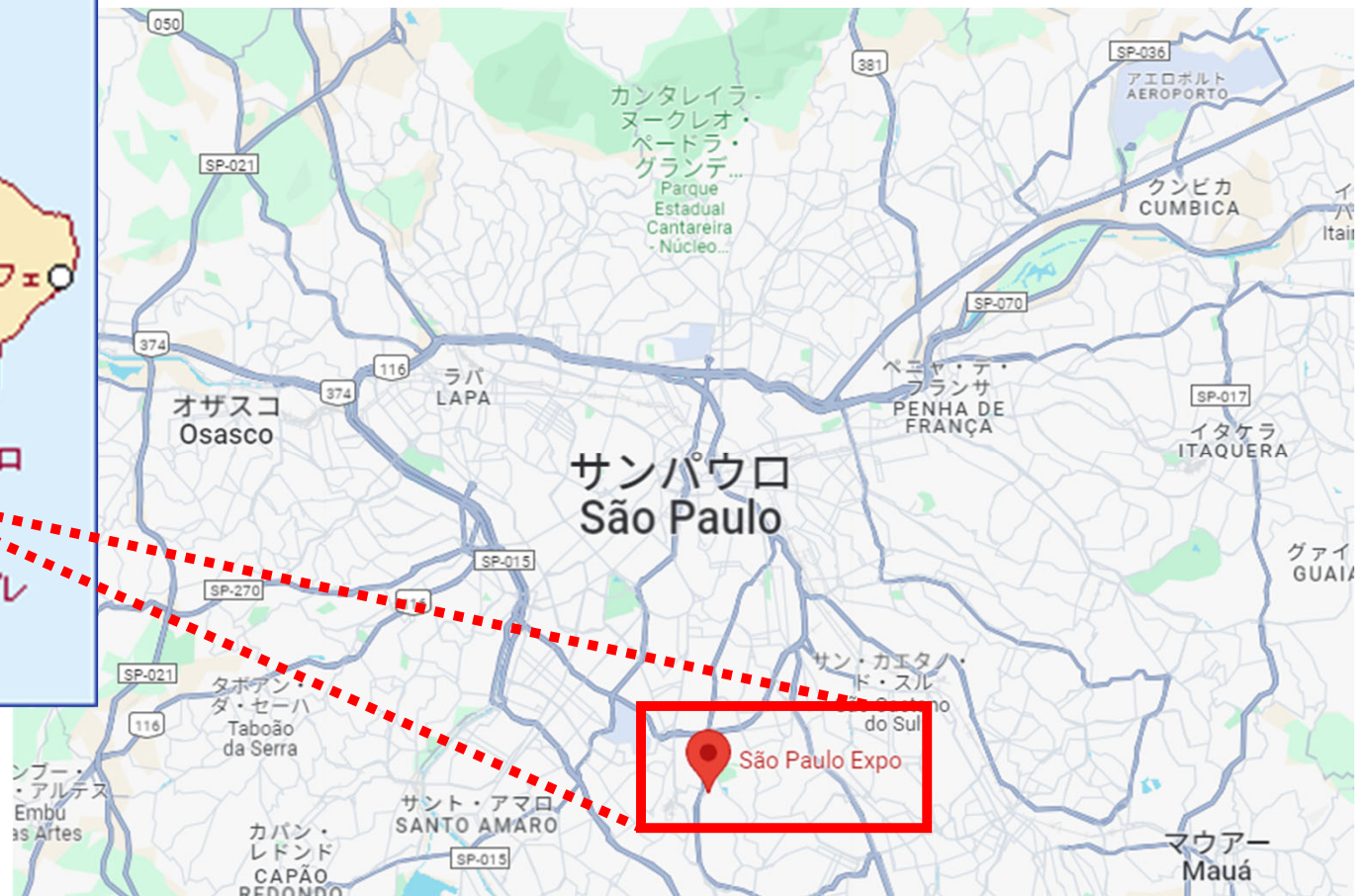
場所：ブラジル・サンパウロ市

サンパウロ・エキスポ（São Paulo Expo）

主催者：ブラジル日本都道府県人連合会（県連）



会場入り口



第2回ふるさと“いいもの”展

共催：ブラジル日本都道府県人会連合会（県連）、農林水産省 他
場所：サンパウロエキスポ（サンパウロ日本祭り会場に特設ブースを設置）
会期：7月10日（木）－13日（日）

※内10日は日本祭り開催前日の実施、

12、13日は招待された一般客（BtoC）の来場も想定

参加予定者：

日本側：各都道府県からの食品事業者、輸出促進団体等

ブラジル側：日本食品インポーター、レストラン関係者

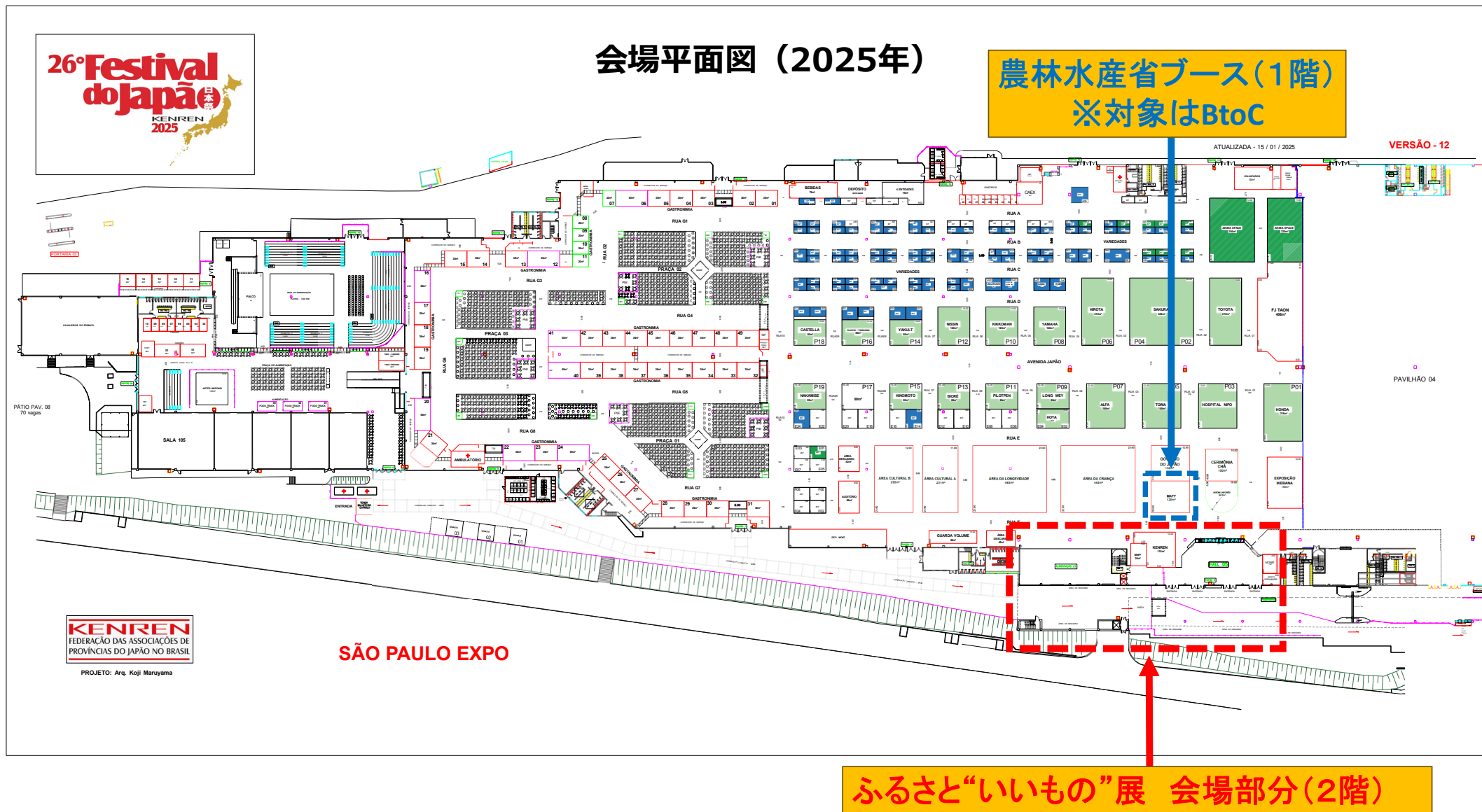
目的：各都道府県の食品事業者等が持ち込む県産品を、ブラジルのインポーターやレストラン関係者等にPRすることにより、ビジネスマッチングや販路開拓に繋げることを目的とする。令和6年に続き2回目の開催。

会場：下記3つのブースで構成

- 都道府県別ブース、3m×3mの9m² 50ブース程度
- テーマ別ブース（日本酒ブース）60m²
- セミナー会場 ステージ、音響設備、客席100席程度

第2回ふるさと“いいもの”展 会場

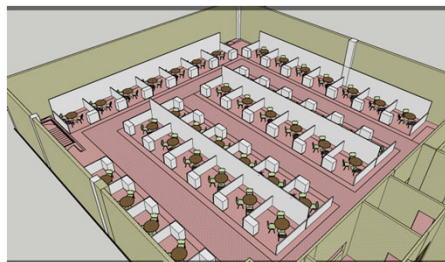
サンパウロエキスポ 1階
(日本祭り会場)



ふるさと“いいもの”展 会場部分(2階)

第2回ふるさと“いいもの”展 会場

第26回サンパウロ日本祭り 第2回ふるさと“いいもの”展 会場

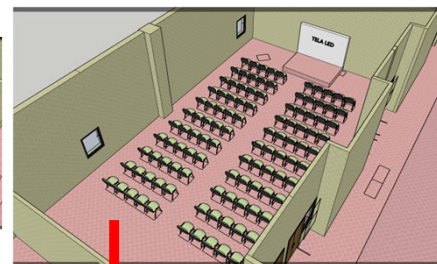


個別ブースエリア
(50ブース程度を想定)

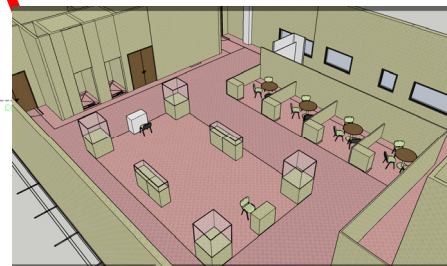
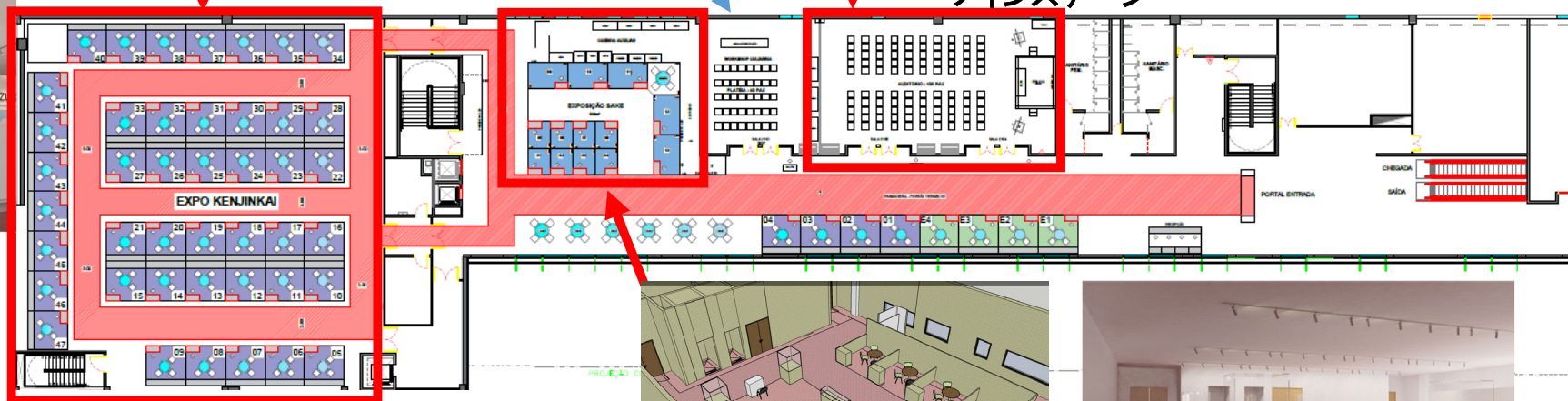
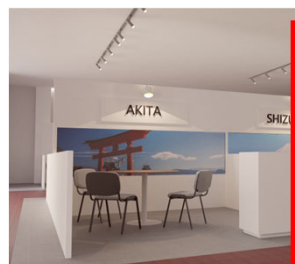
試食等コントロールスペース



セミナー会場
ステージ、音響設備、100席程度の客席



メインステージ



- ・1ブーススペース: $3\text{m} \times 3\text{m} = 9\text{m}^2$
- ・既設置物: 机(1台)、椅子(3脚)、スポットライト
- ・ブースコスト: 出展費(15万円)、追加什器(要相談)

テーマ別ブース 80m^2

※1階農林水産省ブースではBtoC、
2階ふるさと“いいもの”展ブースではBtoB商談に加え、12、13日の2日間は招待された一般客(BtoC)の来場も想定

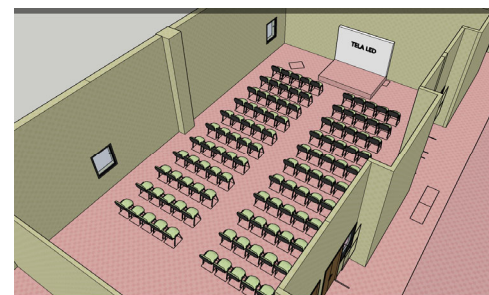
第2回ふるさと“いいもの”展 会場

1 会場について（椅子、机等の基本的な設備は会場に設置済み）

- 都道府県別ブース、3m×3mの9m²
50個程度を設置予定（各県1ブース）
ブース内での水道、ガスの使用不可
※電気調理器は使用可能
- テーマ別ブース ※検討中 80m²
特定のテーマに沿った各都道府県の商品を
専門にPRするブース。出展料は無料。



- セミナー会場
ステージ、音響設備あり、客席100席程度
4日間で各都道府県の商品のPRセミナーを開催予定。
※ステージ上での調理は、電気調理器含め不可



- 1階農水省ブース

日本祭り開催期間中に来場する一般客（BtoC）へのPRを実施希望の出展者に対し、時間を区切ってブースを提供予定。

※出展料は無料ですが、ふるさと“いいもの”展へのご参加が必要となります。



2 必要経費について

①経費補助が出るもの（予定） 各都道府県2名を上限

→日本-サンパウロ間の往復航空賃（8日現地入り、13日現地発）

※ただし、発券時点において最も経済的かつ合理的な経路でのエコノミークラス運賃とさせていただきます。

→宿泊費（5泊分）

宿泊ホテルは、7月8日（火）チェックイン（いいもの展の前々日）、7月13日（日）チェックアウト（日本祭りの最終日）にて、サンパウロ市内中心部のホテルを手配します。

→サンパウロの空港送迎、ホテル、会場間の送迎（バスにより送迎予定）

※上記日程及び場所以外のブラジル国内での交通費は出展者負担となります。

②出展者負担となるもの

最寄りの空港までの交通費、商品代、運搬費、消耗品費（紙皿、割り箸等）、追加備品代、海外旅行保険代

③ブース出展料について

各個別ブース1個あたりの出展料：15万円

お支払い方法：当日、いいもの展の会場で県連担当者へ現金（日本円）にてお支払いください。

④通訳

→各都道府県ブースには、ボランティアのポルトガル語通訳が1名常駐予定です。それ以外で通訳を個別に手配される場合は、出展者負担となります。

3 出展者について①

①対象となる出展者

都道府県職員、県内の輸出促進団体、事業者等（ビジネスマッチングや販路開拓の観点から、出展者の内1名は必ず輸出促進団体もしくは事業者とすること。また、各県2名を超える出展者については、航空賃及び宿泊費についても出展者負担となります）

②テーマ別ブース

取り上げる品目については、現在検討中です。当該ブースへの出展及びPRを希望される場合は、都道府県ブースへの出展も必要となります。

③出展者の選定方法

→都道府県職員、県内の輸出促進団体、事業者等の中で、中南米への事業展開を検討している方、また当該事業の継続性の観点から、次年度以降自費での参加も検討する意思のある方、当該事業に参加いただいてのアンケートやフォローアップ調査にご協力いただける方を優先させていただきます。

出展者は、幅広い商品のPRを希望される場合は輸出促進団体等の代表者、具体的な商談を希望される場合は事業者の方のご参加をお勧めします。

第2回ふるさと“いいもの”展 出展者②

3 出展者について②

④出展者の決定について

→都道府県庁から、県内の団体・事業者の皆様にお声がけをいただき、出展希望者を最大5社まで取りまとめていただき、出展者、出展物、チェックリスト、出張日程について、4月下旬までに農林水産省輸出・国際局新興地域グループ担当者までご提出をお願いいたします。出展希望者より提出いただいたチェックリストを基に、共催者にて審査をさせていただきます。審査結果については各都道府県窓口の方宛てにご連絡させていただきますが、審査結果に関する出店希望者からの個別のお問合せについては回答不可とさせていただきます。

チェックリストの内容につきましては、海外への輸出実績や、ブラジル市場におけるニーズとの適合性、今後の調査へのご協力意思等を想定しておりますが、詳細につきましては内容を検討の上、4月下旬の具体の提出期日とあわせて改めてご案内させていただきます。

なお、都道府県としての出展を見合わせる場合は、3月28日（金）までにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

5月上旬を目途に、出展者及びフライト日程等を確定したいと考えております。

4 出展物について

- ①各都道府県における地域の特産品（主に、加工食品、菓子類、調味料、飲料（アルコール飲料含む）等）のうち、今後、ブラジルに輸出を希望する物
- ②ブラジルへの輸出実績の有無は問いませんが、実際に輸出が可能な品目に限ります。
- ③具体的に輸出に繋がるような商品を選定願います。例えば、菓子類、加工食品、調味料の中でも、類似の商品と比較し特徴がある商品が商談に繋がる可能性が高いです。一般的に、ブラジルでは日本の流通価格の3倍～4倍程度の価格で販売されています。
- ④ただし、生の肉、魚、野菜、果物などの生鮮食品は衛生管理の理由から対象外とさせていただきます。また、賞味期限の短い食品は、輸出から船での輸送、通関に少なくとも3か月以上を要し、ブラジルでの販売期間が短くなるため、商談が成立しにくいという声もあります。
- ⑤いいもの展会場内での商品の販売は不可とさせていただきます。
- ⑥ブラジルでは、実際の商業輸出にあたり、食品添加物に対する規制等が存在します。出展物の選定、商談に際してはブラジルの法令に十分注意をお願いいたします。加えて、インポーターとの商談の際にも、実際の輸出の可否についてよくご相談ください。

5 ブラジルへの出張に関して①

①航空券の手配について

ご提出いただいた出展希望者より参加者が決定しましたら、県連の委託業者にて航空券を発券します。

→7月7日（月）以前のブラジル入国、7月14日（月）以降のブラジル出国については、常識の範囲内であれば対応させていただく予定です。

※90日を超えない滞在での訪問を目的とした一般旅券を所持者は査証不要です

②荷物の運搬方法

現地での保管・受け入れ場所等の観点から、ハンドキャリーでの運搬を基本とさせていただきます。

③現地への到着

→ふるさと“いいもの展”の開催前日である7月9日（水）は、出展者の事前準備に充てる予定です。個別に7月7日（月）以前にブラジルに入国される方を含め、出展者の皆様は原則として7月8日（火）までにサンパウロに到着するようお願いいたします。

④空港送迎

→下記の日程で、グアルーリョス空港と宿泊ホテルの間のバスでの送迎を行う予定です。

詳細については、後日ご案内申し上げます。

【到着】7月8日（火） グアルーリョス空港→宿泊ホテル

【帰国】7月13日（日） 日本祭り会場→グアルーリョス空港

5 ブラジルへの出張に関して②

④宿泊ホテル

→サンパウロ市内中心部のホテルを県連にて予約します。7月7日（月）以前と7月13日（日）以降の宿泊については、同じホテルであればご希望に応じて手配する予定ですが、費用は出展者負担となります。

⑤事前準備日（7月9日（水））

→7月9日（水）は事前準備日とし、午前中～午後を消耗品等の買い出し、午後～夕方を会場設営の時間とさせていただきます。各所への移動に係る詳細なスケジュールについては、追ってご案内させていただきます。

⑥ふるさと“いいもの展”期間中（7月10日（木）～13日（日））

→期間中4日間は、ホテル-会場間の往復バスを朝と夕方に1回ずつ用意いたします。出展者の皆様は期間中、原則として日本祭り及びふるさと“いいもの展”への参加をお願いいたします。併せて最終日13日（日）は、日本祭り終了後に、会場からグアルーリョス空港への送迎バスを手配予定です。

⑦指定期間前後（7月8日（火）のサンパウロ到着前及び7月13日（日）夜以降）

→動きについては特段の制約はございませんが、移動手段、宿泊ホテル、用務先へのアポ等は各自での手配をお願いいたします。

6 今後のスケジュール（予定）

3月28日まで 出展を見合わせる場合のご連絡

4月中旬 オンライン説明会（2回目）

4月下旬まで 出展希望者のご提出〆切

※具体の期日については別途ご案内いたします

5月上旬 出展事業者及び出張日程の決定、
チケット発券及びホテルの予約

7月8日（火）まで 出展者のサンパウロ到着

7月9日（水）事前準備

7月10日（木）～13日（日） ふるさと“いいもの展”

7月11日（金）～13日（日） サンパウロ日本祭り

7月13日（日）サンパウロ出発